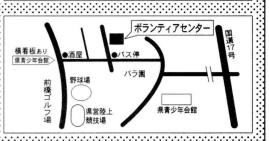


発行/ 前橋・在宅ケアネットワ

事務局 〒371-0045 前橋市緑が丘町26-1(市ボランティアセンタ-TEL / FAX 027-235-6283 受付時間帯 9:30~12:30 郵便振替口座 00150-2-155119





しました。 活発な意見交換をい

レクチャーを受けて、

た

◎レクチャー要旨

施設か在宅の二者択 介護を受ける場合は、 ですから施設の実態 現在の状況で老後 自分自身

その勉強会を企画いたしましたとこ

当会としての初の試みの施設見学と

一々な事情があって最終的な参加者

20名以上の応募がありました。

で副 三台に分乗し += 0 ボランティ 莊 着してすぐに会議室 集合し、 月二 施設長の清水さん 時半に緑ケ へむかいました。 + アセンタ そこから車 Ŧī. ほ H 丘 0) 町 日 ぼ

か。

者に活動の場を広げる時機でなかろう

が多い。

そろそろ定年制を廃止し、

は七十を過ぎても元気で活躍している人

古希と呼んだが、

現在

ふれあい の広場

といわれ、この歳を 七十は「古来希なり ばす歳になり」昨年暮 に七十歳を迎えた。 コキコキと脚腰の 昔

元気に生きて病まずに (PPK) という言葉

事、 となり、 きまった仕事を持つことが望ましい。 む最高の生き方である。そのためには、 死を迎えることで、高齢者だれでもが望 を時々耳にする。 荷の軽減が老いとの共生の鍵となろう。 の問題が介在し、すべてが健康への重圧 は以前の体力や経済力はない。家庭、 かしながら、「老いを生きる」ことは、 つの事業のようにも思われる。 ピンピンコロリ PPKの実現のためには、目標を持ち 親戚、友人、近隣との交流等、 PPKを難しくさせる。この重 そこに 多く 仕

さんのご厚意により、前橋市金丸町の は ほのぼの荘」になりました。 見学先は当会の理事である清水秀夫 事務局を含めて約18名でした。

ビス、この三つの様子をよく見てよく を知らないわからないでは、 ポイントは次の三点です。 でいくことはとても重要なことです。 自分の老後を託せる施設を見学し選ん が困るわけです。そういう意味からも、 しかありません。 方②排泄時の介護のし方③入浴サー する側される側とも考慮するキー ①食事のと

活動は、

すぐれたPPK実践の手段と考

われる。その点社会奉仕(ボランティア) の人と交わって活力をもらうことだと その目標に向って行動することと、

さあやってみよう。

捜して、

実行することが大切である。

えられる。

さらに、

自分でできることを

ちでパ

ークホテルの小会議室でお茶を

終了いたします。

(湯浅高行

施設見学を無事終了し、

有志の

人た



に入りました。

なり、 後の と話され 側も入所する側も、 考えて選ぶべきでしょう。 シ らしてい 大切です。 が必要です。 3 よ びと暮らせる場所を考えてい 基準や施設の規則の しよう。 て自分なりに評価していくことが う 生活空間として自分にあ う 条件のところがよ 为言 デ まし ました。 1 自 個 た。 マ人での感じ方は イ利用時の問題点や対 分が暮ら 今までの介護では、 利 この 用の れ からは、 す 中で守ら っかりとした覚 あ 有 んだっ 利な使 受け入れる 自 か、 由 0 違うで たの 意識 くべ 人生最 討 たらど れて暮 方、

> す 0 べき事項等々の質問が投げかけら 方、 緊急に介護を受ける場合留意

◎施設見学

てい た部 屋とも は ため静かでしたが、 0 5 0 を Vi 0 室、 清水さんのご案内で食堂、 てくださいました。 、再度会議室に戻 方が T ぞき込んでみました。 傾 運 見てまわりました。 きびきびと作業をされて 止 日曜だったためデ け、 って下さい」と手をとっ 屋作りがされていました。 めるための苦心や工夫の説明に耳 搬と処理まで、 抜群の景観をとり入れて工 ウスの見学もしましたが 、所者の部屋、 是非中まで入っ 浴室では実際に n 臭いを最小限にく 共同 施設職員 イ利用者が 通り見学を終え 見学会のまとめ てゆ その 浴 番大変な汚物 作業室を丁 槽の イレ、 て案内 後 0 ま 中まで 人たち 13 り見 所中 夫し 各部 階 な 寧 浴 0 V

を処 りえません」 も無理な時代となり、 てはならない ◎反省会 して 介護を家族だけに委ねるのはとて いかなくては、 とまとめられました。 高齢者自 世話を受けなく 身が自分で自分 良 老後は あ

> 施設 りました。 方がより る程度の どこに何があ もこう う意見を出していただきお開きとな いう どう 有効ではないでし チ I 企画を " り ク機構を作っ う特徴があ どういうシステム 続け 7 るか よう てお 0 か なら、 13 2 あ た

連れの 連発され めながら だよっ 人の皆さんが近よってこら 力に、 最 末筆ながら、 後に、 たのが印象に残 方がおられましたが、 心から ほ 一可 0 ほ 施設見学者の方で子供さん 愛い 御礼 ぼ 0 ぼ 参加の皆さん、 0 莊 申 のとした雰囲 いね可愛い りました。 あ の皆さん方 け れ つつ報告を 入所 清 気 ね 目 水秀 0 から を 0 を 細 老



Yamato 都市と杜の新世界へ 鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。 「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。 これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。

私たちヤマトが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。 そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。 創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、 地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。 自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。 総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。



(ISO14001 認証取得 ISO 9001 認証取得

群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896 URL http://www.yamato-se.co.jp 支 店/東京、埼玉、栃木、横浜、干葉、高崎 営業所/名古屋、浦和、軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、頼谷、栃木市付属施設/大和教育センター、大和環境技術研究所、大和分析センター



NETWORK SOLUTION COMPANY

オフィスにおけるネットワークコンピューティングを強力にサポート!

システム・アルファは豊富な経験と実績をバックボーンに Computer & Network でオフィスの明日を創造する企業です



社:前橋市大友町2-23-5 太田支社:太田市飯田町1053 OKビル

TEL 027-253-1800 TEL 0276-45-5568 を目のあたりにしてきた。

切

実な願いの中から話しが進展し、

どうするのか考える必要があると思

ちに自分達が最後に生活する場所を

さい

23516283

石澤

今こそ高齢者は自立し、

元気のあ

0

老後を安心して生きたいと云う

0

ある高齢者の共同住宅を作りたい

木

ムを建てることも様々な基準

地区 番

和



六年前に夫を看取り、 元総社 高齢化社会が 土

に直面 に参画 0) な問題となった。 こしていくかと云うことは極めて深刻 尊さや、 かつて民生委員や、 n 展する中で、 からの自分自身の老齢期をどうす その厳粛な体験を通して命 老いと死と云う身近な問題 老いることのつらさ悲しさ 私自身も老境に入り 地域 の福祉活動 行 \$

検討会」 問題意識を持つ仲間と、 うした問題にふれ、 近な問題として、 して思えばたしか 問題としてとらえはじめていた。 当初はまったく夢のような話しであ クの会」 そんなとき に変っていったものと思われる。 のメンバーの中から、 の会員となり、 「前橋在宅ケアネットワ 「住みよい街づくり 終の住家を考える いつの 折々自分達の 間にか同じ 更に一 より身 層こ 今に

> 半年余はかかったであろうか、 き当りながらもようやく現実のものと して歩みはじめた。 していたころとは違って何度も壁に突 政 地購入資金の問題、 れには土地がなければと土地捜しに の働きかけ等、 家族への説得 夢の国 その間 と称

変え、 幸せとは限らない。 ことにならされてきた。また経済的に こまで維持できるかは問題である。 員が手薄のため人間としての尊厳をど とは否めない。在宅で家族と共に暮ら を考えると精神的にも自立出来ないこ も未熟で、 しても介護が長くなれば家族の生活を は老いては子に従えで依存して生きる おまかせ主義であった。 元来日本人は自己主張をせず、 家族関係は悪くなり、 人の支えを必要としたとき 施設に入っても職 特に高齢者 必ず 何

本会のグ

たい 後益々殖えると思われる。 を持ちながら明るく生きる高齢者は今 で支えてくれた仲間や、 を引きたいものと思っている。 ながら、 や規制があり課題は山積しているよう 云えないが、 話になる大勢の人々に心より感謝 かし誰でもが迎える高齢期を夢 自信と誇りを持って人生の 自分の生活に責任を持ち これ 地区連絡員 大きな事は からもお 今日ま



がって 内各地で広 まって楽し えたり、 作りが、 く過ごす場 の住家を考 た仲間と終 気の 合 集 市

ましょ をもちたいと思います。 る構想といえましょう。 んな高齢者の ープリ しあって『老後の充実を語り合う会 の考えに賛同の方、 日取場所は追って連絡致します う。 ビング 参加ご希望の方はご連絡 動き、 いき その き館」 夢を語り合 いろんな案を ものを意味 構想は、

す





111 崎 弘 代表取締役

FAX 027-251-8388 2 027-252-5454(代)

〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

私は福祉職として在宅介護支援セン

もこの夢を棄てたわけではありま

だけの結果でしたが、

しかし、

入賞にはならず、

図書券を数枚貰った

で提案したつもりですが、残念ながら

「高齢者のすみよい町づくり」をこれ 「まちづくりアイデア」の一つです。 て提出した県の商工労働部が募集した

中心市街地・商店街活性化のアイディアについて

現在私は老人福祉・八藤保険を中心とした分野で動かせていただい Zat. 島殿首·Za泉族が住みられた泉や地殿で着らしたい・着らし 続けたいが望を持ち続けられるよう 窓口と自りつつ、新しい ユステムづくりにも彼

何らかしらの形で関われたいだろうかと思い考えていました。そこでこの機会に アイデア提案者 XLZ (ごされば Zの食も) 関わらせていただきます。

① 高鮫着を中心に離せば立ち断れるサロンをつくる.

② 買い物のできたい高較着や障害者へのポランティア 活動

のヒマいては、空き店舗集を利用し、サロンをつくり、ポランティアの人々に より、運営し、日中いっぱも立ち寄れるスペースをつくるニとで、暫思や 情報の発信基地と与る可能性がプマセラす。更に長い目でみると、 高殿者《庭用《拡大》個人消费が増之ることも考えられます。

② 1-7117日、唐后行に買い物に行きたいけど行けない、という 島毅者が夕く、月之ば店の紹介をかねた パンフレットをもとにして、

利用着ザンFax や TEL や他の方法で、在文L. とどけるシステムを

付きそうことができ、サロンで車イス等の質に出してスムーズも買い物

また、市の老人福祉制度による「ガイドコルパー・ リルバーメイト」を拭

別

勤務免又は 前橋市在电チアネットワーケッ 会

前橋市在电介膜支援口少一岩神

们也

学 校 名

前橋市下川町 4-6

ふりがな

ふりがな

名

業

さる。具体的巨堤東としては

メールアドレス

氏

住

えあい

福祉はわたしの ライフワーク

岩神地区 三森和也





ターで働いています。

福祉は一

生かけ

てする仕事

(ライフワーク) だと思っ

聞いて、感じてきた私の短い経験です

ています。実際の現場感覚で、

見て、

設立されて、 前橋・在宅ケアネットワークの会が は や何年になりますでし

つい最近から活動に参加すること ささえあい」 「通知」 などで

その活動ぶりを遠目に見ていた私です になりました。

の会から応募してみないか

下の資料は、昨年秋、ネット

ようか

33 歳

5

ちづくり」と、 自分自身の身の置き場がしっかり定す 革してゆく社会の中で、 ざまな人々が「ともに参加して行う_ ると考えています。 活動に、私自身の存在価値 ない思いでいる人も多いのではない これから先どうなってゆくのか 本会の目標 在宅ケアを地域のさま 「高齢者のすみよいま 今日 期待感ととも ますます変 役割があ

者や家族が、

が本会の特徴だと思います 前向き思考で考え、

もが住みよい街」「一人ひとりの高齢 来はある」「高齢者の住みよい街 「子どもに将来があれば高齢者にも将 仕事がら毎日、高齢者に接する私は、

前橋

願 を新しく実現

自分の意志で暮らせる街」などの願

でしょうか。こんな思いを、未来志向、 気兼ねなく自信をもって 消化してゆけるの は誰 よう、 ゆくこと。こういう生き方が好きです。 のために、 してゆくこと。その政策が実現できる てゆくことに自分自身の存在意義を見 出してゆきたいと考えています。 そのためには現場感覚で政策提言を なさん、 緒にやってゆきましょう。 時間がかかっても行動を続けて 自分をとりまく人々のため 自分自身のために、

ちなみに私、三十三歳独身。

日能に ちョニとと思われます。 ● 校宏後たや単独世界の増之る中で、行政のバックアップでの中で「三世代交換 会館」をつくり、世代園交流もデキル 1メールをつくってみても良い と思われます。 ※応募先:郵 送

先に前橋市における在宅介護の実態調

前橋在宅ケアネットワ

クの会は

はじめに

院を減らし、

介護保険に肩替りさせよ

が必要、

など課題が残っています。

と、調査内容及び主治医意見書の充実

綻の救済が一つの目的です。社会的入

うとするものです。

ビスが受けられるというものでした

もう一つの側面でこの制度は、

人医療費が増加し、

医療保険の財政破

④認定調査員及び審査員の

質

の向

的自然是是不知 これからの懇題」

藤澤 慧

明しましたが、

数多くの課題もあると

トさせて頂いている」との認識を表 坂口厚労相は、「大枠で順調にスタ

在宅で認定を受けながら、

五人に一人

介護サービスを受ける立場から

しています。

(日医ニュース・3/6)

永明地区

要介護度認定につい

り高い

(群馬で六四%)②介護スタッ

利用の少ない理由は①自己負担が前よ た市町村は、全体の約三分の二を占め、 が利用しなかった。全国的に少なかっ

フを家に上げる抵抗感がある。

③制度

や手続きに対する不慣れ。

④短期入所

様に、 日新聞、 介護保険における要介護度の認定は NHK等で報じられました

ると発表されています 要介護度に満足なのは ま 上毛新聞3/2 %で、 す。 があると指摘されて また群馬県では 不満が十 %あ Ŧi.

1 0 いて、 加算方式を取ることも考え、 痴呆判定精度アップに マニュアルを作

た

という社会通念により、

主に女性に介

護を押し付けている様子を報告しまし

査を行い、

「介護は家族が行うもの

ましたが、

昨年四月より介護保険制度

「公的措置」という形で対応されて来

度を正確に決める

介護を必要とする高齢者は、

長 間

1)

要介護

が始まりました。この制度は

「介護の

出来ることを周知させる。 年度から新しい一次判定のコンピュ 在宅介護の実態調査を行い、 ②一次判定ソフトを直す、 六ヶ月毎の認定を、 ③認定期間を長くする、という点で ー診断が出来るようにする予定。 十二ヶ月まで延長 という点で 平成十四

を基本とする」との指針により在宅で 社会化」を目的とし、「在宅での介護

介護が困難になった時には、

施設サ

認定システムに問

訪問介護などの在宅サ 供の立場から ビスの報酬が安過ぎ 利用者の立場とは逆 四 サービス事業者は 介護サービス提

す。 る、人件費も払えないと訴えています 重度ばかりだと介護出来ないそうで 介護度多以上でないと、 また、 施設入所サービスを提供するには デイサービス、 赤字になるが 訪問看護、 入

五 おわりに す。 浴等は

双方から不満が少ないようで

あり、 スを受ける「権利」があります。 護保険料を払う「義務」と介護サ 険法に明記されています。私達は、 ることを選ぶことが出来ると、 介護度1以上の人は、 上待たなければならない現状です。 ています。 保険あってサービス無し」と云われ 介護サービス不足が顕在化して、 は希望者が多く、半年から一年以 所得制限の無くなった「施設入 「短期入所」 誰でも施設に入 は日数制限が 介 要 E

とを評価したいと思います。 第に介護の社会化が認知されて来たこ ともあれ、 施行され一年が経ち、 次

えたなど。

を確保するために手控

(小島田 [診療所]

600 630 930

リアルタイムで!! 地域の情報

モーニングインフォメーション

生・有事が 曜~金曜あさ6:55~



曜ニュース&スポーツ 夕方6:00~ おかげさまで30年

ンテーマに第

一部が少子高齢社会を考

えるシンポジウム。第二部がシャンソ

ン・コンサートという構成でした。



「フレンドシップは 社会を救う」

シンポと

シャンソンのタベ

200人が参加

背景を各分野から報告しあい、 氏が登壇し、 ケアのあり方と、本会が提唱するグル の谷村正氏、 精神科医の吉野昭男氏、群馬TV常務 ープリビング構想について語り合いま 第一部のシンポでは萩原弥惣治市長 特養副施設長の清水秀夫 少子高齢化の新しい時代

クラブ主催で本会の協賛で開催され

「フレンドシップは社会を救う」をメイ

百名をこす参加で大成功でした。

この「夕べ」は、

前橋北ロータリー

た「シンポとシャンソンの夕べ」は一

一月二十二日夜、

東急インで行われ

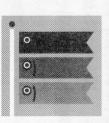
ランティアとの交流、親睦の機会とし ティアの草分け的な団体です。本会の 団体として知られ、市内の各業界のリ ったことから、研修とともに、市民ボ 斎藤会長が今期、 ダーの人々が集まる、いわばボラン ロータリークラブとは世界的な慈善 同クラブの会長とな

て考え準備されました。 と大好評でした。

した。 く内容のある催しはめったにない… たっぷり演奏し、会場を魅了しました。 がシャンソンの弾き語りで約二十曲を 参加者の声を拾うと「こんなに楽し 一部では、歌手の今井ちづこさん

事務局にお問い合わせくだ 耳にしますが、不明な点は かりにくいというご意見を 同封しました。 カード整理のための葉書を 金ご協力のお願いと、 平成十三年度の会費 会費につきましては、 会員 分

ださい。よろしくお願いし 当会で負担します。 できるだけ早く、ご返送く 入を希望された方の費用を、 お忙しいとは思いますが ボランティア保険は、 חל



後 誋

まだまだ数年を必要とするで 多くの疑問点を内臓してい る日本にとっては、 喜んで利用できる制度にな 実です。高齢者や介護者が 介護を改善する対策ですが、 に進む高齢少子問題を抱え 年が経過しました。急速 介護保険制度が始まって とまどいが多いのも事 高齢者

編集

(事務局

るには、

本会の活動にも極めて参考になるもの 今後のあり方を示唆するものでして しょう。 今号の藤澤先生・三森氏のご高説は

です。ありがとうございました。

とうございました。 りいただいた湯浅先生、 関係者が検討しています。今回お骨折 に内容のある活動につなげる方向で、 このような行事を増やすと共に、さら ことは、非常に大切なので、これから 加しました。特養等の施設を良く知る 三月下旬「ほのぼの荘」の見学に参 本当にありが

います。 するため、 進めています。また新しい事業を展開 月の総会を、夜に実施するよう準備を 今年度の会合計画案がまとまり、 定款の一部変更も計画して

えています。ご協力を期待しています。 の投稿があれば、 待ちしています。 りますが、 「ささえあい」も今号で十七号とな 皆様方からの改善要望をお さらに多くの方から 紙面が充実すると考